

キーワード: **子ども** **社会的養護** **ネットワーク** 活動地域: 岡山県
テーマ: 地域や家庭における子ども・子育てに関する事業

団体名: **特定非営利活動法人子どもシェルターモモ**
事業名: 児童養護施設退所児童のアフターケア事業
助成金額: 3,330 千円 事業年度: 平成 26 年度

団体概要

住所: 〒700-0861
岡山県岡山市北区清輝橋 1 丁目 2-9
連絡先: 086-206-2423
HP: <http://shelter-momo.org>

事業背景

児童養護施設等で育った子どもは虐待のトラウマを抱えていることが多く、対人関係でつまづくことが少なくありません。そのため施設退所後に困難に遭遇しても、誰にも相談できずに孤立し、更に困難を抱えてしまうことも多くあります。

当団体は、自ら運営している子どもシェルター及び自立援助ホーム退所者に対し、アフターケア支援を行ってきましたが、退所者が抱える困難は生活や就労等多岐にわたることから、他機関やNPO 等と連携してネットワークを構築し、支援体制を確立する必要がありました。

事業概要

児童養護施設等を退所した子どもや若者が抱える困難を解決するため、アフターケア相談所「en」を開所しました。「en」では電話相談の窓口を設け、児童養護施設職員経験者などが電話相談に応じます。

また、「en」は施設退所者の子どもや若者が気軽に立ち寄れる居場所としても解放されており、退所者同士の交流やピアサポートを行う場所としての機能もあります。加えて、退所者が抱える問題を解決するために必要な生活支援や就労支援、住居支援等の当団体だけでは解決できない問題については、専門機関に繋ぐ役割を果たしています。

更には、現在児童養護施設に入所している子ども達を対象に、退所後の生活で必要となる金銭管理や契約等について学ぶ機会を設け、退所後の生活に備えました。

ここに注目！

子ども達のニーズに基づき、行政のみではなく、入居支援や就労支援等に取り組む様々な社会資源と連携し、支援者のネットワークを構築することで支援の幅を広げることができました。

助成事業終了後には、その実績や成果に基づき、行政が事業化に向けての協議をはじめ、公的で継続的な支援へ発展させることができました。



食事会の風景



相談所「en」のパンフレット

キーワード: **子ども** **社会的養護** **アフターケア** 活動地域: 群馬県

テーマ: 地域や家庭における子ども・子育てに関する事業

団体名: **一般社団法人ヤング・アシスト**

事業名: 自立援助ホーム等退所児童アフターケア事業

助成金額: 3,988 千円 事業年度: 平成 26 年度

団体概要

住所: 〒371-0021

群馬県前橋市住吉町 2-8-9 2 階

連絡先: 027-289-3771

事業背景

自立援助ホーム等を退所した子どもに対するアフターケアについては、個々の施設の職員が少なく、思うように手が回っていない状況です。

自立援助ホーム退所者の中には精神的なケアが必要となる場合も少なくはなく、彼らが安定した生活続けるには家庭的な支援が必要です。また、アフターケアを実施するには一法人では対応が困難であるため関係機関等と連携した広域的な展開が求められています。

事業概要

施設退所者の居場所づくりと相談場所の提供を目指したサロン兼相談所「ひだまりサロン」を開所しました。当サロンでは、施設退所者からの電話相談や来所相談と同時に当事者同士の交流会を行うことで、孤立しがちな当事者同士の繋がりも生まれています。

また、専門機関等につなげるための同行支援や手続きに関する支援、更には健康状態、心理状態によりサロンに来ることができない当事者に対して一時的な生活介護を行うアウトリーチによる支援を併せて行うことで、施設退所者が抱える複合的な課題に対応しました。

加えて、社会的養護の抱える諸問題の理解を深め、サロンスタッフのメンタルケア及び力量を向

上させるため、児童養護関係者を対象に研修会を開催しました。

ここに注目！

気軽に立ち寄ることができるサロンでのコミュニケーションから見えてきた課題を専門機関や支援団体等に繋げることも含めて、相談者それぞれに応じたアフターケアを実施することができました。

団体スタッフは自立援助ホームに長く勤めていた方が多いこともあり、団体設立後一年以内に法人格を取得することができ、今後は、自立援助ホーム設立を目指すなど、助成金を活用し、団体として着実にステップアップしています。



相談の様子



活動風景

キーワード: **子ども** **社会的養護** **学習支援** 活動地域: 東京都

テーマ: 地域や家庭における子ども・子育てに関する事業

団体名: **特定非営利活動法人3keys**

事業名: 格差の下にいる中高生たちへの学習ボランティアによる家庭教師派遣事業

助成金額: 2,621 千円 事業年度: 平成 26 年度

団体概要

住所: 〒161-0033

東京都新宿区下落合 4-6-27

連絡先: 03-5906-5416

HP: <http://3keys.jp>

事業背景

児童養護施設が外部から必要としている支援は「勉強サポート」が最も多いといわれていますが、その支援者の確保は十分ではありません。

これらの状況から、当団体では 2011 年以降都内を中心とした児童養護施設に学習ボランティアを派遣する取り組みを行ってきました。活動の認知度が上がるとともに、東京 23 区外や近隣県からの依頼も増えてきており、そのニーズに対応できる体制づくりやボランティアを確保する必要性がありました。

事業概要

助成事業では、学習ボランティア（チューター）を確保する登録会を行いました。これまでよりも広い地域での学習ボランティア派遣を可能とするため、東京 23 区内だけではなく神奈川や西東京方面でも登録会を開催した結果、192 名の登録がありました。

また、増える学習ボランティアをマネジメントしていく必要があったことから、その役割を担うコーディネータースタッフとの情報共有を WEB 上とともに月 1 回のミーティングを行うことで支援の質が低下しないよう取り組みました。

一方、実際に学習支援を行うチューターに関しては、共有していた情報を冊子にまとめることでコミュニケーションが減少したことによる支援の質の低下を防ぎ、同時にチューターの声を拾い上げるとともに孤立を防ぐための交流会を開催しました。

ここに注目！

広域への支援を可能とするために組織基盤の強化を図ることができました。現在の派遣先施設数は 15 施設（うち神奈川県で 2 施設、東京 23 区外で 3 施設）となっており、広域的に活動を発展させることができました。

行政からのヒアリングや講演の依頼があるなど、活動の認知も進んでいます。また、2015 年度より児童養護施設等に対する学習支援費が加算されたこともあり、今後の更なる事業の広がりが期待されます。



学習支援の風景



ボランティア登録会の様子

キーワード: **子ども** **社会的養護** **シェアハウス** 活動地域: 滋賀県
テーマ: 地域や家庭における子ども・子育てに関する事業

団体名: **特定非営利活動法人四つ葉のクローバー**
事業名: 児童養護施設等を退所した子どもの支援事業
助成金額: 5,854 千円 事業年度: 平成 25 年度

団体概要

住所: 〒524-0022
滋賀県守山市守山 2-15-25

連絡先: 077-584-5688

HP: <http://www.yotubanokuroba2013.com/>

事業背景

児童養護施設等に入所する主な理由は親からの虐待であり、心に虐待による傷を抱えたままでも原則 18 歳を迎えると施設を退所しなければなりません。

退所後は住所を確保しようにも保証人がいないことや理解者がいないこと、また、心の傷が癒えていないことなどから進学や就職の際に困難な状況に直面するケースが多く、公的支援で対応できない「制度の狭間」で苦しんでおり、支援が求められています。

事業概要

児童養護施設退所者等を対象に、安心して進学、就労できるよう支援する為にシェアハウスを開所しました。ハウス内のルールは、児童養護施設等とは異なり入居者が設定することとしました。また、シェアハウスの1階に餃子屋を開業し、就労経験を積むことでシェアハウス退所後の生活に備えました。

シェアハウス内のリビングをサロンとして開放し、気軽に立ち寄れる居場所を設置しました。また通所利用者の社会性や協調性を育むために食事会等のイベントを開催するなど地域社会との交流を図りました。

ここに注目！

シェアハウスを開所することで、利用者の就労、進学支援だけではなく、生活面や社会性の部分においても効果が見られ、きめ細やかな支援が可能となりました。

様々な困難を抱える子どもたちに対応するため、弁護士や精神保健福祉士等の専門職からの協力を得ています。またシェアハウス退所後についても地元行政やハローワーク、中小企業家同友会など幅広い方々と連携して対応しています。



シェアハウスでの様子



イベントで用意したクリスマス会の飾り

キーワード: **生活困窮者** **貧困・格差** **相談支援** 活動地域: 愛知県
テーマ: 貧困・格差対策等の社会的支援(福祉的支援)を行う事業

団体名: **特定非営利活動法人ささしまサポートセンター**
事業名: 元ホームレスを含む生活困窮者家計再建事業
助成金額: 982 千円 事業年度: 平成 25 年度

団体概要

住所: 〒453-0821
愛知県名古屋市中村区大宮町 1-27
連絡先: 052-462-9325
HP: <http://sasashima.info/>

事業背景

近年、生活困窮者の相談支援は、路上生活者等の住居のない人達からの相談よりも、生活保護を受給している居宅生活者からの家計相談が多くなっていました。

食料提供や家賃滞納等への対応は、一時的な対処療法的な支援であり、同じような問題が生じないよう相談者の生活状況の改善を目指した支援の必要性が高まっていました。

このため、当団体は家計相談を切り口に、自立して居宅生活を継続していくことを目指した支援に取り組みました。

事業概要

家計相談で、相談員と支援対象者がアパートや団体事務所で対面しながら、単に家計のやりくりや家賃滞納等に着目するだけでなく、支援対象者が抱える家計管理がうまくいかない原因(孤立、依存、生活状況、健康状態等)を明らかにし、抜本的な解決を目指した支援を実施しました。

家賃滞納の背景には、強い孤独感からアルコール等依存となる傾向があることから、仲間づくりにつながる居場所を運営しました。

ここに注目！

平成 26 年度より、名古屋市から生活保護を受給している居宅生活者を対象に訪問活動や、生活や家計の相談・居場所活動等を行う「地域生活支援巡回相談事業」の委託を受けました。平成 27 年度からは、さらに家計管理事業が加わった「地域生活支援巡回相談・家計相談支援事業」を継続的に受託しています。

助成事業で得た活動経験は、即時に活用され、支援対象者は今まで以上に広がり、行政との連携もさらに強化されました。また、委託事業で賄えない対象者については、団体独自で活動を継続しています。これらの支援により、アパート退去者は減少し、家計に対する不安の軽減が図られたことにより就労につながった例も出ています。



キーワード: **生活困窮者** **貧困・格差** **包括支援** 活動地域: 愛知県

テーマ: 貧困対策等社会的支援(福祉的支援)を行う事業

団体名: **のわみ相談所**

事業名: 新たなシェルターの開設と就労支援事業

助成金額: 2,700 千円

事業年度: 平成 23 年度

団体概要

住所: 〒491-0869

愛知県一宮市向山町Ⅰ丁目 10-4

連絡先: 0586-72-9697

nowami38@yahoo.co.jp

HP:

<http://heartland.geocities.jp/nowami38/nowamisoudansyo.html>

事業背景

ホームレスや生活困窮者の方々の多くは、精神疾患やアルコール依存症、ギャンブル依存症、多重債務など何らかの問題を抱えており、就労による自立が困難な状況です。

自立生活の実現には、緊急的な避難場所であるシェルターを地域に増やしていくとともに、当事者本人に寄り添う生活支援や就労支援などを通じて、本人の自信と社会とのつながりを取り戻すためのサポートが必要となりますが、一宮市及び尾張地域ではそうした支援が不足しています。

事業概要

平成23年度事業では、定員11名のシェルターを新たに開設し、行政や他の支援団体などと連携し、生活における悩みに寄り添う相談活動(パーソナルサポート)に取り組みました。また、スーパーや弁当屋、フードバンク活動団体など地域の企業や団体との連携により、カフェレストラン、弁当配達、リサイクルショップ、便利屋などさまざまな就労拠点の立ち上げにも取り組まれました。

食事づくりや家の修理、庭木の手入れなど、本人の希望やスキル(能力や特技)と仕事とをマッチングさせた便利屋などの就労支援事業では、当事者が誰かを助ける経験から自信を取り戻し、自立意欲を高める効果があがっていました。

一人ひとりに合った支援を伴走型で行う中で、原則1年の入居期限では十分回復しきれない方

へ対応するため、平成25年度より入居期限をなくし、長期入居が可能なシェルターとして運営されています。当事者の主体性や他入居者との協調性に重きをおいた居住支援には、必要に応じて医師による医療相談やボランティアによる学習支援を取り入れるなど、相談、学習、就労を一体として支援にあたることにより、高い自立率を達成されました。

ここに注目！

地域で不足しているシェルター数を徐々に増やすとともに、民生委員やボランティア、企業やフードバンク活動団体などとの地域のネットワークを活用した生活支援や就労支援、病院や医師との協働による医療相談など、一人ひとりに伴走するように支援することで、生活保護に頼らない就労自立を継続的に実現されていました。

のわみ相談所 シェルター入居者の自立率



※平成23年度定員推移: 助成金運営による新設等11名の定員増及び老朽化に伴う廃止や個室化による8名減